

令和4年度 園全体評価

園評価の結果について、以下の通り報告します。

1. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
<p>教育・保育内容全般について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 休園による行事の延期開催など、臨機応変に対応し大きな行事を終えることができた。 それを踏まえ、環境を整えながら積極的に関わりチャレンジする意欲をもたせる。 • コロナ感染予防対策を徹底して行った。それを職員間で共有しながら保育に携わった。さらに、もう少し工夫すべきであった。 • 子ども一人ひとりの発達状況に応じて保育・教育するように心掛けた。 • コロナ禍のため、各行事等が中止や短縮を余儀なくされたが、その都度、コロナ感染予防対策を第一に考えた方法を職員で話し合い臨機応変な対応に取り組んだ。 • コロナ対策を徹底して、昨年度よりは園外への活動を増やした。 • コロナ感染予防に努めながら、収穫した野菜などで、少しでも子ども達とクッキングを楽しむことができ良かった • 昨年同様、栄養士による食育指導を行い、子ども達と一緒に考えたりしながら、「食すること」「食」に関わることを楽しみながら伝えていくことができた。コロナが感染拡大していく状況において食育集会で集まること出来なかったのは、残念であった。 • 0歳児の月齢に幅があり、一人ひとりの子どもの発達を踏まえ、無理なくその子どもの発達状況に合わせて援助した。危険のないように目を配り、信頼関係、スキンシップを大切にした。 • 気になる子の対応には、全職員で話し合いの場を設け、事例をあげながら、対応を確認していった。 • 感染症対策に取り組みながら、園生活の様子ができるだけわかるように、写真の掲示をするなどの工夫をした。 • 個々の発達段階を把握し、主体的に遊び込める環境を設定し展開させていく。 • 疑問に思ったことは、その都度話し合いを持ち、意見を出し合いながら解決していく。そして、保育・教育への共有・共感を職員全員が持つようにした。

<p>教育・保育環境 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ感染予防対策として、大型バス利用の行事は中止。また、保護者参加の行事は参加人数の制限・未満児、以上児と時間差で参加など。その都度、コロナ感染予防対策を徹底する。昨年度の反省を踏まえ、よりスムーズに行事が進めるように常に職員間での話し合いをする。 • おがーるシステムの導入で非常事態の時の連絡が一斉メールで行われた。 • コロナ感染予防対策を園全体で徹底し、玄関での送迎・毎日の検温を引き続き行う。また、連絡網を作り、いざという時に備える。 • コロナ禍の中での、コーナー遊びの環境作りの工夫。また、遊具消毒、掃除の徹底に全職員が取り組む。
<p>教職員の専門性 に関する研修への 意欲について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍のため、今年度もすべての研修会がオンラインで行われた。ほとんどの職員が参加のため、情報交換しながらオンライン研修の実践を学ぶ。 • 以上児・未満児ともに、その都度、課題を見つけ、日常の保育へとつなげていく。 • 個々に一年間の目標を持ち、先を見通した保育にするために努める。
<p>地域・保護者との 連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年同様、災害時に備え訓練を行う。コロナ感染拡大に伴い、地域の関係機関との連携は取れずじまいだったが、職員間で連携・協力を得ながら行った。避難車での避難誘導も昨年度の反省を生かしスムーズな避難になるよう取り組んだ。 • 新型コロナウイルスの影響で臨機応変な対応。 • 地域との交流・小学校との連携は、すべてが中止となったが、最後に近隣の小学校に出向き、低学年と交流ができ子ども達も就学にむけて意欲的になった。
<p>子育て支援の 充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ感染拡大に伴い、全休園、もしくは、一部休園が続き、一時預かり保育の受け入れが困難であった。受け入れ予定の日も、断る事が何件もあった。 • 休日保育も、コロナ感染拡大に伴い他園からの受け入れが出来なかった。

2. 今後に向けて

<p>教育・保育の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じたの密を避けることの対応が難しく、安心・安全な環境作りは今後も必要である。 ・全職員が共通理解のもと、子どもに必要な環境、健やかな成長のための保育をめざす。 ・言葉遣いに気を付け、強い口調や制止や禁止の言葉を多く使いがちにならないように心掛ける。 ・中止していた行事を再開するにあたり、見直しする所は改善し安全に安心して行事を楽しむにはどうしたらよいかを考える。 ・施設の衛生、安全管理を徹底し安心して安全な環境作りに励む。 ・それぞれの発達に留意して、離乳完了と歩行や発語への意欲を育む。担任同士、共通理解をする。 ・連絡事項等伝えきれてない時もあったので、確実に伝える。 ・コロナが緩和された今、以前のようにもどりつつも、また、どういう状況になるかわからないので、その都度話し合いながら前向きに考えていく。 ・特別な支援の必要子どもに対し、適切な指導や援助関わりが持てるようにする職員間で情報を共有し合う。 ・様々な感染予防のため、遊具消毒・園内清掃の徹底、
<p>職員の専門性向上に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のコミュニケーションをしっかりと、報告・連絡・相談を怠らないようにする。 ・園内研修では、子ども達の育ちが確かなものになるように職員全員が共通理解をして、次につなげていけるようにする。 ・今一度、感染症対策マニュアル及びガウンセットの活用について職員全員で共有する。 ・向上心を持ち続け、いろいろな行事が楽しんでできるように職員間での話し合いを十分に行っていく。
<p>保護者・地域との連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な対応を心掛け、正確な情報を伝える。 ・今後も保護者との連携を密にとり、共に子どもの育ちを支えていけるようにする。 ・おがスマメールの活用 ・緊急時の対応の理解、連絡の確認。